



学校便り 琢磨

第21号 R2.9.24 三豊市立詫間小学校

今年度2回目の集団下校がありました！

9月23日（水）に、今年度2回目の集団下校を行いました。例年であれば、月に1回程度行っている集団下校ですが、本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団下校の回数を減らしています。2学期になってからは、昨日が初めての集団下校でした。

交通安全担当の教員から、「集団で登校することで、事故や事件に遭う確率がぐんと低くなるので、毎朝、登校班で並んで登校してほしい。」という話と、「歩道の上を歩く時も、車道から遠い方を歩くように。」という話がありました。私からは、集団登校について、「上級生は、集団登校で下級生を安全に学校に連れてきてほしいと思います。下級生は、上級生になった時に、下級生を安全に連れてきてください。」とお願いしました。その他、集団登校は、安全面だけではなく、学校に遅れることが少なくなる、違う学年の子とのふれ合いができるなどのメリットもあるのではないでしょ



か。裏面の絵本のお話も、集団登校の場面から始まります。

体操服で通学（熱中症予防対策）は9月30日まで！

熱中症予防対策として、体操服での通学可などについては、以下のとおりとします。

【9月30日で終了する措置】

- ・ 体操服での通学、ポロシャツの代わりに白色Tシャツ（ワンポイント可）の着用
- ・ 上着をズボンに入れなくて外に出す、体操服等で体育以外の授業を受ける

【今後も継続する措置】

- ・ 傘をさしての登下校、水筒の中身（薄めたスポーツドリンク可）、着替えやタオルの持参
- ・ 陸上特別練習後の体操服での下校

今回から、裏面に「絵本」を掲載します！

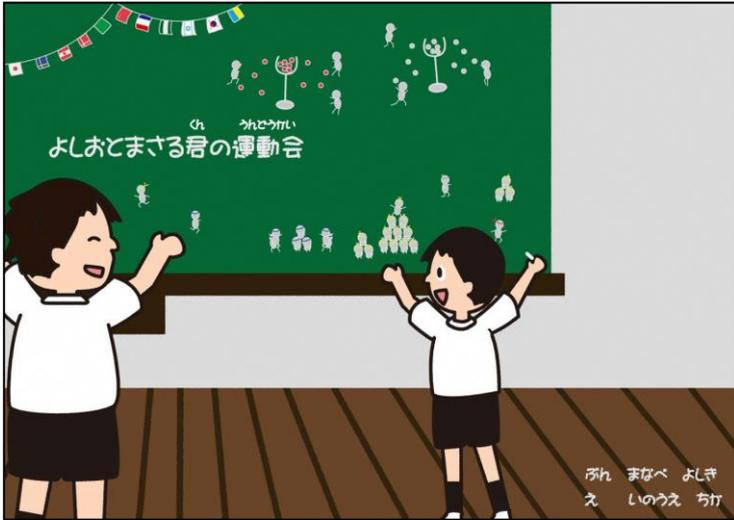
今回から7～8回に分けて、私が書いた絵本を、裏面の「真鍋校長の独り言」のコーナーに掲載していきます。

絵本の題名は『よしおとまさる君の運動会』です。小学校1年生の時の体験をもとに、文を私が書き、井上ちかさんという方に絵を描いていただいて去年完成した、ほぼ実話のお話です。

今年度、詫間小学校の運動会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となってしまいましたが、ちょうど本校では運動会の季節ですので、この絵本を連載することにしました。

学校便りは、絵は白黒ですが、カラーの絵本は、学校便りの発行と同時に、校内2か所に掲示していきますので、詫間小学校の皆さんには、ぜひ見つけて読んでもらいたいと思っています。

ちなみに、このお話に登場する「よしお」という人物は、小学校1年生の時の私自身です。



よしおは、^{しょうがっこう} 小学校の^{いちねんせい} 一年生。といっても、このお話を、^{はなし} 今から^{いま} 五十年も昔の^{ごじゅうねん} お話なので
^{かよ} す。よしおが通っていた学校は、^{がっこう} 毎朝、^{まいあさ} 集団^{しゅうだんどうこう} 登校をしていました。^{しゅうだんどうこう} 集団登校とは、^{きんじょ} 近所の子
^{あつ} どもたちが集まって、^{はん} 班をつかって、^{がっこう} みんなでいっしょに学校に行くことです。

この集団登校には、^{しゅうだんどうこう} きびしい「おきて」があったのです。^{ふた} それは二つ。^{がっこう} 学校の先生から^{せんせい} きび
^い しく言いつけられていたきまりです。

一つは、「^{ひと} 全員がそろって登校すること」と、もう一つは、「^{ひと} 登校時刻におくれないこと」でし
^{かんたん} た。簡単そうに思えますが、^{おも} 登校班には^{とうこうはん} 一年生から^{いちねんせい} 六年生までの^{ろくねんせい} 子どもたちがいますので、^こ 時に
^{しゅうごうばしょ} 集 合場所におくれている子もいます。

この班の中で、^{はん} 一番小さいよしおは、^{なか} ある^{いちばんちい} 歩くスピードがおそくて、^{うし} 後ろにいる^{にねんせい} 二年生の子につ
^{こばし} つかれながら、^{とうこう} 小走りになって登校したものでした。^{とうこうじこく} それでも登校時刻ぎりぎりになってあせってし
^{なんど} まうことも何度かありました。

^{いま} 今から、^{ごじゅうねん} 五十年も昔の^{むかし} ことですから、^{がっこう} 学校の先生も、^{せんせい} とてもきびしくて、^{とうこうしゅうりょう} 登校 終 了 の時刻
^{おとこ} になると、^{せんせい} 可愛い男の先生が^も ぼうを持って^{こうもん} 校門の前に立ち、^{まえ} おくれた班は^た 問答無用で^{はん} しまわれま
^い す。言いわけは一切聞いてくれません。^{いっさいき} とくに^{ろくねんせい} 六年生の^{はんちよう} 班 長さんにはめっぽうきびしく、

^は 「歯をくいしばれ！」なんてこともめずらしくはありませんでした。

(次号に続く)